

活力ある地域社会づくりへの貢献

明日を担う子どもたちへ

1966年(昭和41年)の当行創立70周年を記念し、「当行に対する地域のみなさまの温かいご支援とご愛顧に感謝するとともに、地域社会のお役に立ちたい」との考えから、学事振興を目的として設立いたしました。毎年、各種教育機関に対し、学事振興に役立つ教材・器具等を寄贈しております。2019年度は、5先へ寄贈いたしました。その数は、延べ347団体となっております。

山形銀行学事振興基金



金融経済のしくみを知る

明日を担う子どもたちを金融犯罪等から守り、健全な金銭感覚を養うとともに、自らの責任において主体的な経済活動ができる人材の育成を図るため、小・中・高校向けの金融経済教育を行っております。

また、その一環として、2012年12月より、特定非営利活動法人 金融知力普及協会との共催により、「全国高校生金融経済クイズ選手権『エコノミクス甲子園』」の山形大会を開催しております。8回目の開催となった2019年12月の山形大会では、県内7校から33チーム66名の高校生が筆記テストや早押しクイズで優勝を目指しました。

金融経済教育



豊かな地域社会づくりのために

山形県が新たに整備した「山形県総合文化芸術館」について、当行が施設命名権(ネーミングライツ)を取得し、2020年5月、「やまぎん県民ホール」としてオープンいたしました。大ホールには、当行が寄贈した緞帳「『紅』- BENI -」を設置しております。世界を代表する工業デザイナーの奥山清行氏(山形市出身)がデザインし、山辺町のオリエンタルカーペット株式会社が製作にあたりました。当行は、地域社会の発展のため、県の文化振興活動に積極的に取り組んでまいります。

文化振興活動



健康意識の向上とメンタルヘルスケアの強化

健康経営

当行は従業員の健康を重要な経営資源の一つと位置づけ、2017年10月、「やまぎん健康宣言」を策定いたしました。少子高齢化による労働人口の減少や、生活習慣病の増加などによる医療費の拡大などを背景として、健康意識の向上・メンタルヘルスケアの強化・運動機会の増進などを柱とし、従業員およびその家族の健康増進に取り組んでおります。

2020年3月には、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に3年連続で認定されました。



山形銀行の目指す姿

ESG経営とSDGsへの取り組み

仕事と家庭の両立で働きやすい環境づくり

子育て支援

2015年4月、全国初となる「プラチナくるみん」を取得いたしました。

2016年4月に施行された「女性活躍推進法」の趣旨に則り5年間の「行動計画」を策定し、4年間(2016年4月～2020年3月)の育児休職取得率は、女性100%、男性77%となっております。

また、2018年9月に山形大学小白川キャンパスにおける企業主導型事業所内保育所「つばみ」を開所したほか、他の企業主導型保育所との共同利用も順次拡大しております。

今後も働きがいのある職場環境の整備と、より働きやすく、子育てに優しい企業を目指してまいります。



業績ハイライト

業務サービスのご案内

地域のスポーツ振興をけん引

ライヤーズ

女子バスケットボール部「ライヤーズ」は、2019年に開催された茨城国体で準優勝したほか、実業団大会でも上位入賞の常連となるなど、全国を代表する実業団チームとして活躍しております。また、地域のスポーツ振興を図るため、小・中学生のジュニア選手を対象とした「バスケットボールクリニック」を積極的に行っており、2019年度は11回開催し、延べ794人の参加をいただいております。

練習見学やクリニックをご希望の場合は、下記までお問い合わせください。

▶山形銀行 人事総務部 023(623)1221
▶山形銀行 体育館 023(655)5649



組織とネットワーク